

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

MAEC TECHNICAL NEWS

No. M16C-91-0211

M16C/6N0, M16C/6N1 グループ データシート追加情報
CAN 送信手順の訂正

分類	ドキュメント正誤表 注意事項 ノウハウ その他	対象	M16C/6N0 グループ (M16C/6NA を含む) M16C/6N1 グループ (M16C/6NB を含む)
----	----------------------------------	----	--

1. 対象のデータシート

- (1) M16C/6N0 グループ和文データシート (Rev.B2) 200 ページ
(2) M16C/6N1 グループ和文データシート (Rev.A) 200 ページ

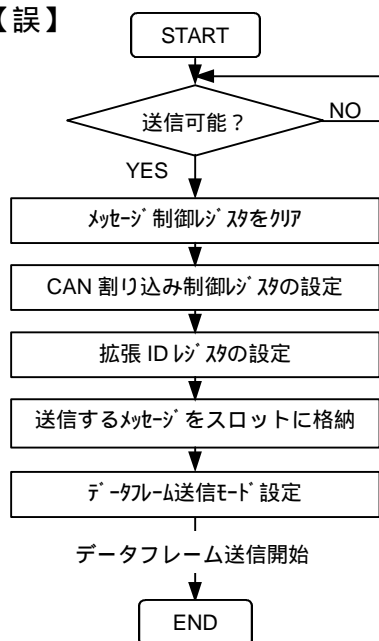
2. 対象となる機能

CAN 通信の送信手順 (データフレーム/リモートフレーム) が対象となります。

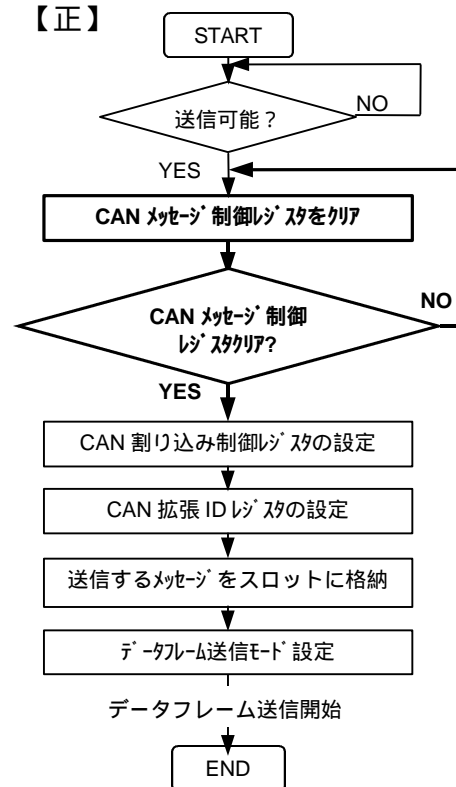
3. 訂正内容

図 1.22.32 割り込みによるデータフレーム送信モードの送信手順フローチャート

【誤】



【正】

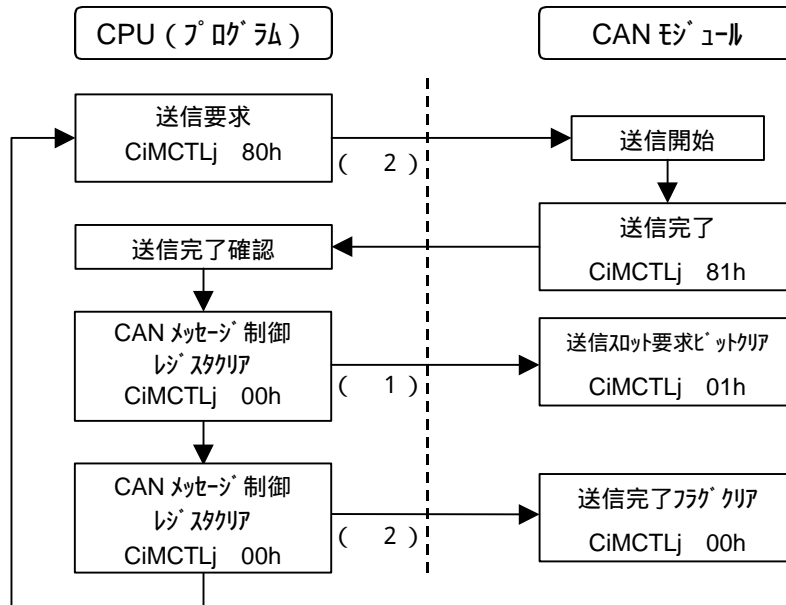


4. 訂正内容補足

今回の訂正は「メッセージ制御レジスタをクリア」の一文では、プログラムを作成する上で説明不足であるため、「CAN メッセージ制御レジスタのクリア確認処理」を追記しました。

CAN 送信設定時、CAN モジュール内部では下記の遷移に従い動作します。

(CiMCTLj : CAN メッセージ制御レジスタ i=0,1 j=0 ~ 15)



CPU クロック(メインクロック分周比選択ビットで選択)に対し CAN クロック(CANi クロック 選択ビットで選択)が遅い設定の場合、送信スロット要求ビット及び送信完了フラグがクリアされない場合があります。

ただし、[CPU 分周値 = CAN 分周値] の場合と [CPU 分周値 / 2 = CAN 分周値] の場合、コンパイル後のアセンブラコードが下記のコードになっていれば、CAN メッセージ制御レジスタのクリア確認処理を行わなくても正常にクリアされます。

```

mov.w #02xxh, -x[FB]
mov.w -x[FB], A0
mov.b #0h, [A0] ; 送信スロット要求ビットクリア(上図 1)
mov.w -x[FB], A0
mov.b #80h, [A0] ; 送信完了フラグクリア&送信スロット要求ビットセット(上図 2)
    
```

#02xxh : CAN メッセージ制御レジスタ (xx = 00 ~ 0F, 20 ~ 2F)
 -x[FB] : 一時退避 RAM (スタック)

【注意】コンパイラの最適化オプションによっては、上記コードに変換されない場合があります。全クロック設定において、CAN メッセージ制御レジスタのクリア確認処理を行ってください。

以上